



②② どんな植物が生えているか調べよう

The List of Plants in the Area

—植物調査プログラム—

● この活動のねらい ●

林や草原には、どんな植物が見られるのでしょうか。調べる範囲を決めて、その中の植物を調べてみると分かります。また、環境のちがうところどうしを比較すると、環境によって生える植物の種類もちがうことがわかります。ここでは、植物の調べ方の一例を紹介（しょうかい）します。

● 調べ方 ●

準備するもの

・ 植物図鑑^{ずかん}

・ 巻尺

・ カメラ

1 調べる地点を決める。

調べたい地点を決めます。そのときに、安全に調査できる地点かどうかを確認しましょう。2カ所以上調べるときは、環境のちがうところを選び、その結果を比べてみましょう。

2 調査する。

- ① 天気、気温、調査地点のようすを記録します。カメラがあれば、そのときのようすを記録しておきましょう。
- ② 巻尺で正方形のわくを決めます。そして、その中に生えている植物の名前を記録します。芽生えたばかりのものや花が咲いていないものは名前が分かりづらいので、定期的に観察して、花が咲いたら名前を調べていくとよいでしょう。
※ 正方形のわくを何m×何mにするかは、調査地のようすによってかわっていきます。
- ③ ②で調査した場所とは環境のちがうところで、②と同じ広さの正方形のわくをとり、そこに見られる植物を調べます。
※ 花が咲いている植物は、スケッチをしたり、カメラで記録しておくともよいでしょう。名前が分からない植物は、採集して、持ち帰って調べましょう。

3 調査結果について話し合う。

調べた結果から、分かったことを話し合ってみましょう。

- ・ 1つの地点で、季節によってどんな花が見られたでしょう。
- ・ ちがう調査地点どうしで、見られた植物の種類を比べましょう。
- ・ 巻尺で調べる範囲を広げていくと、見られる植物の数はどう変わっていくでしょう。

参考となる資料

沼田 真 編. 1978. 草地調査法ハンドブック. 東京大学出版会.

林 一六. 1990. 植生地理学. 大明堂.

【田村】



植物標本のつくり方

植物を採集した場合には、押し葉標本をつくとよいでしょう。生きているものをとるわけですから、とりすぎないようにしましょう。標本にしておけば、きちんとした資料となります。

- ① 植物を採集します。そのとき、なるべく大きくとります。その植物は、いつ、どこで、だれがとったのかを記録しておきましょう。



- ② とった植物は、新聞紙を折りたたんで(半ページ分)はさみます。



- ③ 植物をはさんだ新聞紙の間に、吸湿用(きゅうしつ)に何もはさんでいない新聞紙を入れてます。それを重ねて、おもりをのせておきます。吸湿用の新聞紙は、毎日取り替えます。1週間から10日間で乾燥(かんそく)が仕上がります。

- ④ ラベルを作製します。

必要な事項…和名、科名、採集地、採集者、採集日。

和名、科名は分かってから記入するようにしましょう。

※乾燥した植物とラベルが新聞紙に入れられて、押し葉標本は一応完成です。

和名	カントウタンポポ
科名	キク科
採集地	岩井市大崎・博物館野外
採集者	春田 花子
採集日	平成15年 4月 20日

ラベル



- ⑤ 植物を台紙にはります。そのとき、葉の1枚は必ず裏返して、葉の表も裏も分かるようにしてはりましょう。学校では紙を幅5mm程度に切り、市販(しはん)ののりを使ってはるとよいでしょう。

